

平成29年度 通学路等合同点検 点検シート

学校名	若葉小学校	参加者	学校・保護者	井土校長、梅津副校長
			立川警察	秋山巡查部長（交通課）、岡本巡查部長（生活安全課）
			立川市	浅見課長（学務課）・田井係長（同 学務保健係）、松本（道路課施設係）、石堂係長（交通対策課交通企画係）
実施日	平成29年11月17日（金）登校時			
登校時刻	8:10～8:15			

番号	場所	通学路指定	状況(危険内容等)	状況(点検時確認)	対策案	対策案の事業主体				現地写真	
						道路管理者		警察	教育委員会		市交通対策課
						都道	市道				
1	九中近く 水色公園向かいから五日市街道までの歩道 (若葉町3-23・-24・-25付近)	○	・歩道が狭いため、歩道を歩かずに車道を歩く人が多い。	・九中北側の交差点、南東地点に、横断歩道標識、立て看板「注意！事故多発」設置済み ・九中北側の交差点には、通学路防犯カメラが2台設置済み（平成28年度） ・北側交差点は交通量が多く、車のスピードも速い。児童や高齢者の横断は危険	・若葉町4-25-1清水宅（プログレス北側）に、「とびだし注意！」の立て看板設置要望済（⇒市道路課） ・立川九中北側交差点への信号機設置は、立川警察に要望済。ただし、優先順位に基づいて設置するので、実現可能性及び時期は未定 ・北側交差点は、けやき台小・若葉小統合後に、児童の登下校を見守る「交通ルール指導員」を配置予定（予算要望済）			○	○		
2	「若葉町団地南」交差点 つきき公園から五日市街道を南北につなぐ歩道・道路 (若葉町3-59～-64付近)	○	・左記該当場所の北側に位置する、若葉町団地30～34号棟の東側道路には、西側にガードパイプが整備されている。一方、五日市街道に近い南側にはガードパイプがなく、片側に路側帯が整備されているのみ（写真）。交通量が多く危険。	・ガードパイプのある歩道は特段危険箇所はないように思われる。 ・南側の道幅は4m程度と狭いが、交通量は少なく、通学する児童数も少ない。	・五日市街道に近い南側の、歩道がない道を歩く児童への注意喚起（交通安全教育）						
3	グルメシティ東側 小平市との市境 若葉東通りと、若葉町団地23号棟北側道路の交差点 (若葉町4-24付近)	○	・歩行者用信号は設置されたが、車両用信号はない。	・通過する車の通行量、歩行者、自転車は割と多く感じられた。車両用信号がないため、車は大半は注意して通過しているが直進、右折、左折とあり危険ではある。 ・スーパ―を利用する自転車・歩行者・車が割と多い。 ・ここを横断する児童数は現状は少ないが、若葉台小開校後は増える可能性がある。	・車両用の信号機設置は幅員が不足しており設置は困難（立川警察） ・車両に対する注意喚起の看板「左右を確認して渡りましょう」等は交差点周辺に設置済						
4	若葉大通り	○	・3. 記載の通りが小平市方面へ開通したことにより、交通量が増加した。	・通過する車は抜け道のため、スピードを出している。 ・この通りを横断しなければ危険性はない。 ・大通り北側の歩道は幅員が広く整備されており見通しも良く安全である。一方南側は幅員狭く、歩道も凸凹や段差が各所に見られる。	・児童が通りを横断する危険はある一方、北側歩道の安全性は確保されており、北側を通学してもらうことが望ましい。 ・児童の登下校を見守る「交通ルール指導員」の配置により、児童の安全を確保したい。				○		